automechanika
FRANKFURT
Press Release

messe frankfurt

2024 年 11 月 5 日
メッセフランクフルト ジャパン株式会社

アウトメカニカ 2024
コロナ禍後初の完全復活開催にて終了

モビリティ転換への道を示す

Messe Frankfurt Exhibition GmbH は 2024 年 9 月 10 日（火）から 9 月 14 日（土）の 5 日間、ドイツ・フランクフルトにてアウトメカニカ 2024 を開催しました。今年のトレンドは、電動化、コネクティビティ、運転支援システム、デジタル化です。見本市には合計 4,200 社（80 カ国・地域）が出展し、108,000 人の業界関係者が 172 の国と地域から来場しました。販売用、ワークショップ用、そして産業用の様々な最新の製品や革新的なソリューションを発表しました。

左：「アウトメカニカ 2024」会場の様子　　右：「アウトメカニカ 2024」Future Mobility Park（野外エリア）の様子

アウトメカニカ 2024 結果
・来場者数：108,000 名（172 カ国・地域）　※2022 年実績（隔年開催）…78,000 名（175 カ国・地域）
・出展者数：4,200 社（80 カ国・地域）　※2023 年実績（隔年開催）…2,804 社（70 カ国・地域）
・会場面積：320,000 ㎡

■様々なイベントを開催
会場内の各ホールに設置された、合計 5 つのステージで、さまざまな産業分野のトレンドや開発に関するディスカッションが行われました。特に、Future Mobility Park（野外エリア）では、専門家フォーラム「Innovation4Mobility」を開催するだけでなく、体験型イベントも催され、来場者は電気自動車、水素自動車、ハイブリッド車などの代替駆動システムを搭載した自動車に乗車したり、実際に運転することもできました。このような、参加型イベントを実施することで、来場者の 94%（70%は海外からの来場者）がアウトメカニカ 2024 の来場に対して満足したと回答しました。

■将来を見据えた展示やワークショップ
今年のアウトメカニカのテーマは「Driving Transformation（変革の推進）」でしたが、それは見本市の至るところで見受けられました。

具体的には、デジタル・トランスフォーメーション、持続可能なモビリティ、人工知能といった重要なトピックに関する将来を見据えたプレゼンテーションの実施、実践的なトレーニング・ワークショップの推進、「未来のワークショップ」特別ショーケース、そして活発なパネル・ディスカッションなどです。

また、ホール 5.0 に新設されたサステイナビリティ・コートのステージでは、再製造や循環型経済の戦略に関する数多くのプレゼンテーションが行われるなど、今年のアウトメカニカでは、持続可能な技術、製品、ソリューションが特に注目されました。

ホール 3.1 では、Z 世代向けの特別エリア「Ambition」が初登場し、自動車産業に興味を持つ若者を対象に、簡潔で魅力的なプレゼンテーションやパネル・ディスカッションなどにも力を入れました。自動車業界における熟練スタッフの不足が叫ばれている現状で、次世代を惹きつける新しいコンセプトをここで見つけてほしいというメッセージが込められています。

■日本出展者の声（五十音順）

本見本市に日本からご出展いただいた皆様からのコメントをご紹介いたします。

公益財団法人　長野県産業振興機構
マーケティング支援部　グローバル展開コーディネーター　　近藤　恭二　氏
「EV 先進地域である欧州における次世代自動車関連の販路開拓を目的として長野県パビリオンに 4 社が出展しました。不安定なドイツ経済、大手 Tier1 企業のリストラが進められている中での展示会でしたが、欧州、日本の大手 Tier1 企業が多数出展しており活況を呈していました。長野県として初めての出展でしたが、普段では難しい大手 Tier1 企業等との接点づくりおよび今後につながる情報交換が短期間で効果的に出来たことは大変有意義でした。欧州の自動車業界の状況を理解することが出来た世界最大級の自動車部品に関する展示会でした。」

辰巳屋興業株式会社
海外部　部長　　櫨　卓也　氏
「2022 年開催の前回に続き、フランクフルトに出展させて頂きました。昨今ではリアルでの面談は減りつつあると言われていますが、最終的には１０万人を超える来場があったと聞きうれしく思います。また、今回は改めてオートメカニカの力を感じました。欧州のみならず中東、アフリカ、アジア、中南米と非常に多くの国と地域から来場があり、当社の製品ラインナップの紹介をするチャンスがあり、まだまだ世界各国への拡販の可能性を感じさせていただき、大変有意義なものとなりました。」

ワーズインク株式会社
代表者　　神部　典之　氏
「弊社は新規市場の開拓を目的に、様々な地域で国際的な展示会に出展しています。特に欧州市場に向けた活動として、フランクフルト展示会は非常に重要です。この展示会は欧州各地から多くのバイヤーが集まり、効果的な PR が可能であるため、効率的かつ効果的に活動を進められると感じています。また、来場者との対話を通じて、欧州市場の現状やニーズについて直接情報を得ることができ、弊社の市場調査に大いに役立っています。こうした理由から、フランクフルト展示会は弊社にとって欠かすことのできない重要な機会であり、今後も引き続き成功を収められることを期待しています。」

■次回開催

次回のアウトメカニカ上海は、2026 年 9 月 8 日（火）から 12 日（土）の開催日程となります。
詳細は https://automechanika.messefrankfurt.com/frankfurt/en.html をご覧ください。

■2024 年の開催画像は、以下にてご確認ください。

https://automechanika.messefrankfurt.com/frankfurt/en/press/photos.html

■出展・来場に関するお問合せ先

メッセフランクフルト ジャパン株式会社
技術系見本市
Tel 03-3262-8410　Email info@overseas-fairs.com
www.jp.messefrankfurt.com

メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、800 年以上にわたり見本市会場として親しまれるドイツ・フランクフルト市に本社を構える世界最大級の国際見本市主催会社です。約 40 万平方メートルの見本市会場を所有し、同社株の 60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。グループ全体では世界中に 28 の拠点と約 2,160 人の従業員を有しており、世界各地域の約 180 カ国をカバーするグローバルネットワークは、メッセフランクフルトの強みの 1 つです。2023 年のグループの売上高は約 6 億ユーロで、顧客のビジネス拡大に貢献しました。また、「サステナブル経営」を企業戦略の中核に置き、環境保全、経済活動、多様性と社会的責任などの観点において持続可能な状態を実現する経営を実践しています。見本市主催事業以外にも会場の貸出、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングなど、オフラインとオンラインを合わせた包括的かつ幅広いサービスを提供し、顧客のニーズに合わせてビジネスをサポートしています。
詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。www.messefrankfurt.com